



医療的ケアを 介護ではなく子育てとして

日時 平成25年3月10日(日) 10:00~12:30

会場 TKPガーデンシティ仙台 (AER21階) Aホール

(JR仙台駅よりペDESTリアンデッキ直結 徒歩2分)

9:30 開場

10:00~10:10 開会あいさつ 会長 東北大学小児科教授 呉 繁夫

10:10~11:10 講演 梶原 厚子 さん
(NPO法人あおぞらネット 訪問看護ステーション・そら 理事)

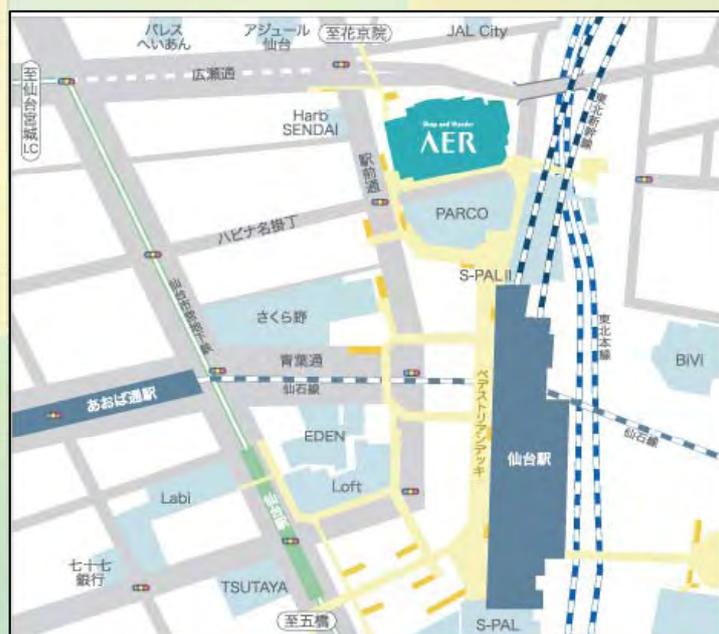
11:20~12:20 講演 西村 理佐 さん
(在宅人工呼吸器ケアを受けているお子さまのお母さま)

12:30 閉会

- ◆身障者手帳・療育手帳をお持ちの方は
駐車料金が1時間減免されます。
※ AER地下駐車場のみ。地下1階管制室へ
お申し出下さい。
(AER駐車場をご利用の方は、混雑が予想
されますのでお早めにお越し下さい)
- ◆医療的ケアの必要な方は、医師、看護師が
サポートいたします。

お問い合わせは

【事務局】 東北大学病院小児科
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
TEL. 022-717-7289 / FAX. 022-717-7290
<http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/>



会場案内地図

講師紹介

梶原厚子さんは、NPO法人あおぞらネットの理事・管理者で、東京都世田谷区で「訪問看護ステーション・そら」を運営されています。

「NICUの慢性的な病床不足をひとつの背景に、長期入院する乳幼児の在宅医療への移行が推進されています。『自宅で過ごすことは、子どもにとっても幸せなこと』である一方、それは家族に大きな負担を強いています。医療で救命したいのちなのだから、地域とともに協力しあいながら支えていきたい。訪問看護ステーション・そらは、医療ケアや配慮が必要な子どもたちの『生きにくさ』『育てにくさ』に寄り添っていきます。」～そらのホームページより～

困っている人には誰にでも看護を届けることを信条とされています。

西村理佐さんは、埼玉県在住で人工呼吸器ケアを受けている帆花(ほのか)ちゃんのお母さんです。そこにあるいのちのあたたかさ、生きていることの楽しさと苦しさを自身のブログ「ほのさんのバラ色在宅生活<http://honosan.exblog.jp/>」で語りかけてくれます。その紹介文から...

「出産時にへその緒内動脈断裂のため、生まれて10分間心肺停止。ほのさん自身の『生きたい』という強い意志とNICUスタッフの尽力によって繋がった大切な命。突然のことに母さんもうつになりながらも、在宅で育てる決意をし、生後9ヶ月で叶った念願のバラ色在宅ライフです。ほのさんみたいな超重症キッズが、一人でも多く地域で暮らせる世の中になりますように」著書に日々のブログをまとめた「ほのさんのいのちを知って」があります。

お申込み方法

FAX

022-717-7290

東北大学病院小児科 田中総一郎宛

必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。

(FAXが利用できない方はお電話ください。022-717-7289)

代表者連絡先	住所 〒		
名前	所属		
電話	FAX 折り返し確認のFAXを返送いたします。		
<input type="checkbox"/> 医療的ケアを希望します	※当日は医師、看護師スタッフがサポートさせていただきます。		
<input type="checkbox"/> 駐車場からの誘導を希望します	※医療的ケアが必要でAER地下駐車場を利用する方に限ります。		
名前	職種など	名前	職種など

◆ ◆ ◆ 医療的ケアが必要な方へ ◆ ◆ ◆

駐車場誘導(AER地下駐車場利用に限る)や会場でのケアのお手伝いなど、当日は医師、看護師スタッフがサポートいたします。事前にお話しを伺いたいのので、いただいたFAXをもとに担当医師 田中 総一郎からご連絡させていただきます。